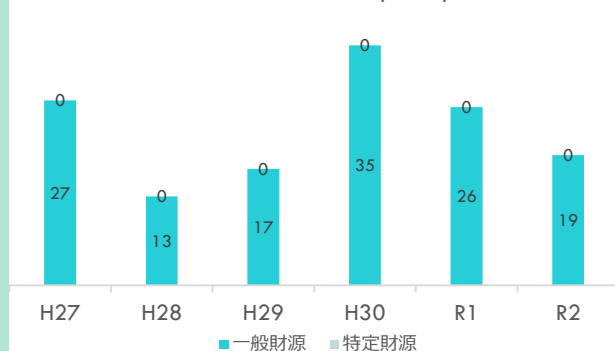
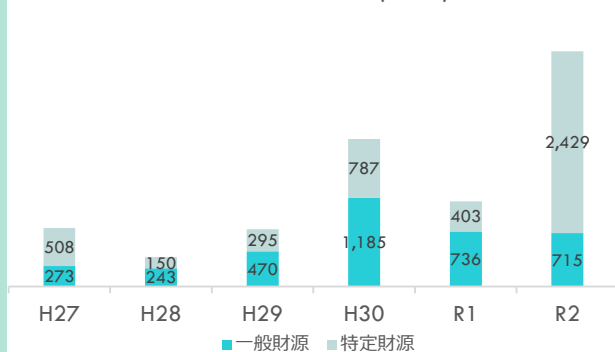


農政水産課

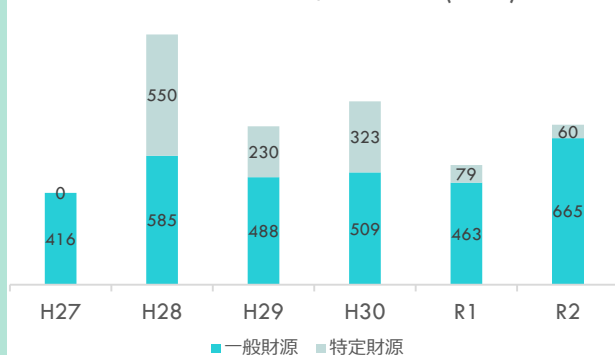
経常的経費の財源(万円)



臨時的経費の財源(万円)



普通建設事業費の財源(万円)



現状と課題

本市の水産業は、カキ養殖業を中心とした漁業が盛んであり、漁船漁業も盛んであることから主要産業の一つと位置づけられています。また、五味の市や真魚市の両魚市場は、漁業者と消費者の交流の場であると同時に、観光地としての側面を持ち、地域活性化の観点からも重要なものとなっています。

しかし、水産資源の減少、漁業従事者の高齢化など、水産業を取り巻く環境は決して楽観できる状況ではなく、今後とも水産物の産地として発展していくためには、基盤整備や後継者対策の取り組みを継続するとともに、里海(※)づくりによる豊かな海の再生に取り組んでいく必要があります。

また、市内での水産物の消費拡大や自然災害に強い漁村の構築が求められています。

漁港(頭島港、大多府港、穂浪港)については、機能を充実させるため年次的に整備を進めていますが、今後は背後地の整備を図っていく必要があります。

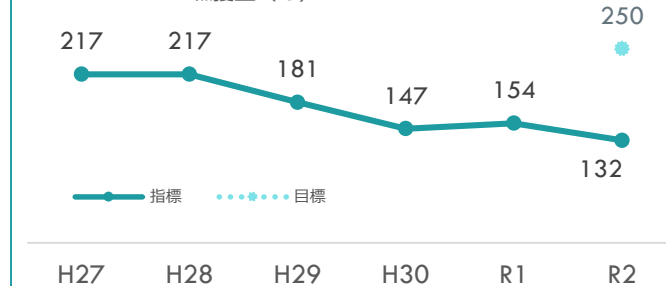
※里海：人の手が加わることにより、生物生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域

成果指標

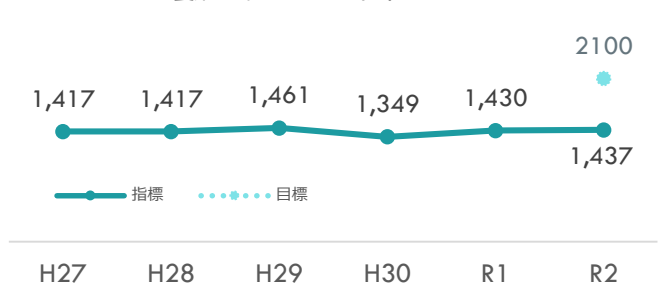
回復させたアマモ場の面積 (ha)



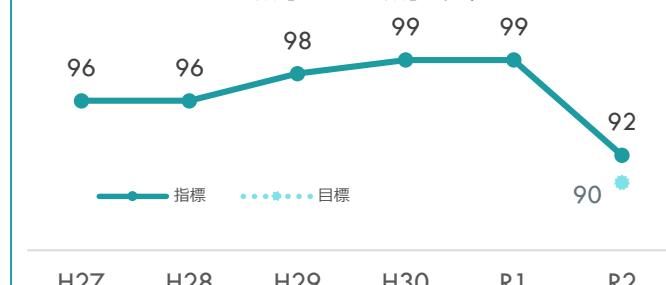
漁獲量 (t)



養殖カキの生産量 (t)



漁業者数【正組合員数】(人)



指標の説明・・・

アマモ場の面積が回復してくれば、漁獲量や養殖カキの生産量の増加が期待できます。

課題に対する主な取組

課題	課題に対する主な取組	概要	臨経区分	予算執行(万円)	特定財源(万円)	アウトプット (どのくらいの事業や取組を行ったか)	アウトカム (どれだけの成果が得られたか)
水産資源の減少	里海のまちづくり	水産多面的機能発揮対策事業	臨時的経費	138万円	69万円	流れ藻回収・種子播種作業(200万粒)によるアマモ場造成活動実施7日間	回復させたアマモ場面積の維持(R2年230ha)
水産資源の減少	水産業の経営基盤の強化	栽培漁業による種苗放流	普通建設事業費	50万円	－	サワラ、ガザミ等の放流	サワラの資源量の回復(東部地区R2年 漁獲量84.9トン)
水産業後継者対策	水産業の経営基盤の強化	漁業経営の担い手対策	臨時的経費	10万円	5万円	就業奨励金の交付	2名の新規就業者の確保
水産基盤整備	沿岸域の総合管理	海ごみ対策事業	臨時的経費	250万円	207万円	海ごみの回収(計7回)やモニタリング	2,500kg以上の海ごみ回収
漁港の機能充実	漁港の整備	水産業流通改善事業	普通建設事業費	480万円	480万円	活魚水槽の導入	市場滞留等による価格下落の改善、高鮮度の水産物の安定供給

施策の評価

一次評価者	役職	農政水産課長	・水産資源の減少や漁業従事者の高齢化が進む中で、引き続き漁場の整備や効果的な稚魚の放流を行い、適切な資源管理により、豊かな生態系をもつ里海づくりを行いました。また、観光漁業の拠点である「五味の市」や「真魚市」など、食の安全・安心と地産地消の推進を行いながら、海を活かした観光の魅力として情報発信を続けていきます。 ・漁村・漁港の整備につきましては、機能診断など老朽化対応を引き続き県に要望してまいります。
	氏名	中畑 喜久弥	
二次評価者	役職	産業部長	漁業資源の減少や漁業者の高齢化などから縮小傾向にありますが、食糧需給だけでなく観光資源・環境保全の役割からも備前市の水産業は重要性が高いと考えます。水産資源の再生や漁業施設・経営基盤の整備などに関係機関と連携し引き続き取り組んでください。 水産業に伴う社会資本整備については、公益的な観点と産業観光振興などの面からも、機能的な役割を的確に判断し、県に要望してまいります。
	氏名	岩崎 和久	